

■ ポスター発表 4 (第 3 会場)

STL データを用いた舌接触装置の作製

香川県臨床アカデミー

○大西美咲^{1) 2)}、山本友絵^{1) 2) 3)}、赤松秀規^{1) 4)}
今城広治^{1) 5)}、西原裕^{1) 6)}、森口善夫^{1) 7)}
小川尊明^{1) 8) 9)}、片桐幸大^{1) 10)}、上里聡^{1) 11)}

矯正歯科臨床において、口腔筋機能療法 (以下 MFT) は、一般的に行っているリハビリテーションの一つである。当院ではビジュアルフィードバックを用いたエレクトロパラストグラフィ (以下 EPG) を用いて MFT 評価を行っている。EPG を用いてデータ採得を行うにあたり、口腔内のセンサーとして EPG パレートを作製し用いている。EPG パレートは、製作方法が複雑で、かつ多くの技工時間を要する。加えて技工操作における装置の厚みも舌運動の評価を左右する問題となる。また、EPG パレート作製を行うにあたって口蓋の正確な印象採得は重要である。しかし、MFT や言語治療が必要な小児に印象採得は困難な場合を経験する。当院では、複数のデジタル機器を用いて矯正歯科技工を行っている。

今回、デジタル機器を用いた当院での舌接触装置作製の特徴について発表する。



■ 略歴

平成 24 年 香川県歯科医療専門学校 卒業
平成 24 年 小西デンタルスポット 勤務
令和元年 吉田歯科医院 勤務
令和 3 年 株式会社スマイル・アート・カンパニー 勤務

■ 共同発表者

- 1) 香川県臨床アカデミー
- 2) 株式会社スマイル・アート・カンパニー
- 3) 一般社団法人 香川県歯科科技工士会
- 4) 赤松歯科医院
- 5) いまじょう矯正歯科クリニック
- 6) 医療法人社団 裕歯科クリニック
- 7) もりぐち歯科クリニック
- 8) おがわ口腔外科クリニック
- 9) 香川大学医学部 歯科口腔外科
- 10) かたぎり歯科クリニック
- 11) 医療法人社団ゆずか こうざと矯正歯科クリニック